

抗 悪 性 腫 瘍 剤 治 療 プ ロ ト コ ー ル 一 覧

津田沼中央総合病院

2026.6.8.更新

適応疾患	療法名	薬剤 1日投与量・方法	投与時間	投与日	投与ルート	投与間隔、総コース	主な副作用	適応
腎がん	腎 ペムブロリズマブ(3週毎)単剤	ペムブロリズマブ 1回 200mg	30分	DAY1	点滴静注DIV	3週に1回投与	骨髄抑制、インフュージョンリアクシ ン、甲状腺機能障害、間質性肺炎、1型	腎細胞がん 術後補助化学療法12か月まで
	腎 イピリムマブ+ニボルマブ療法	ヤーボイ注 1mg/kg オブジーボ注 (1ー4コース目:240mg 5コース目以降:480mg		DAY1 DAY1	点滴静注DIV 点滴静注DIV	1ー4コース目 21日間 5コース目以降 28日間	骨髄抑制、インフュージョンリアクシ ン、甲状腺機能障害、間質性肺炎、1 型糖尿病、食欲不振、悪心・嘔吐、末梢 神経障害、腎障害、肝障害、皮膚障 害、過度な免疫低下、下垂体機能障 害、副腎障害、脱毛、重症筋無力症、 心筋炎、横紋筋融解症、心障害、免疫 性血小板減少性紫斑病、静脈血栓塞 栓症、消化管穿孔、下痢・腸炎、口内炎	根治切除不能又は転移性の腎細胞癌
	腎 ニボルマブ+カボザンチニブ療法	ニボルマブ 480mg/日 カボザンチニブ 40mg/日	30分かけて	DAY1 連日	点滴静注DIV	4週に1回投与 連日内服	骨髄抑制、インフュージョンリアクシ ン、甲状腺機能障害、間質性肺炎、1型 糖尿病、食欲不振、神経障害、腎障 害、肝機能障害、過度の免疫反応、脳 炎、下垂体機能低下症、副腎障害、大 腸炎、下痢、発疹、手足症候群	根治切除不能又は転移性の腎細胞癌
	腎 ペムブロリズマブ(3週毎) +アキシチニブ療法	ペムブロリズマブ 1回 200mg アキシチニブ 5mg/回 1日2回 適宜増減	30分かけて	DAY1 連日	点滴静注DIV 経口投与	3週に1回投与 連日内服	骨髄抑制、インフュージョンリアクシ ン、甲状腺機能障害、間質性肺炎、1型 糖尿病、食欲不振、神経障害(しびれ、 麻痺など)、腎障害、肝不全、肝機能障 害、過度の免疫反応、皮膚障害、脳 炎、下垂体機能低下症、副腎障害、下 痢・大腸炎、高血圧、ヘモグロビン上 昇、創傷治癒遅延、タンパク尿、手足症 候群	根治切除不能又は転移性の腎細胞癌
	腎 ペムブロリズマブ(6週毎) +アキシチニブ療法	ペムブロリズマブ 1回 400mg アキシチニブ 5mg/回 1日2回 適宜増減	30分かけて	DAY1 連日	点滴静注DIV 経口投与	6週に1回投与 連日内服	骨髄抑制、インフュージョンリアクシ ン、甲状腺機能障害、間質性肺炎、1型 糖尿病、食欲不振、神経障害(しびれ、 麻痺など)、腎障害、肝不全、肝機能障 害、過度の免疫反応、皮膚障害、脳 炎、下垂体機能低下症、副腎障害、下 痢・大腸炎、高血圧、ヘモグロビン上 昇、創傷治癒遅延、タンパク尿、手足症 候群	根治切除不能又は転移性の腎細胞癌
	腎 ペムブロリズマブ(6週毎)単剤	ペムブロリズマブ 1回 400mg	30分	DAY1	点滴静注DIV	6週に1回投与	骨髄抑制、インフュージョンリアクシ ン、甲状腺機能障害、間質性肺炎、1型	腎細胞がん 術後補助化学療法12か月まで